



2020年4月15日

各 位

会社名 株式会社 琉球銀行
代表者名 取締役頭取 川上 康
コード番号 8399 (東証第一部、福証)
問合せ先 執行役員総合企画部長 金城 均
電 話 098-860-3787

業績予想の修正に関するお知らせ

琉球銀行は、最近の業績の動向などを踏まえ、2019年5月10日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位: 百万円)

【連結業績】	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	60,200	9,300	6,200	144円66銭
今回修正予想 (B)	62,700	6,900	4,900	114円19銭
増減額 (B-A)	2,500	▲2,400	▲1,300	
増減率	4.2%	▲25.8%	▲21.0%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	62,117	8,661	6,105	149円13銭

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位: 百万円)

【個別業績】	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	40,200	8,000	5,500	128円33銭
今回修正予想 (B)	42,400	5,300	4,000	93円22銭
増減額 (B-A)	2,200	▲2,700	▲1,500	
増減率	5.5%	▲33.8%	▲27.3%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	42,054	7,397	5,374	131円29銭

2. 業績予想の修正理由

当行は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業者の皆さまに対し営業現場より業況のヒアリングを実施し、事業者の皆さまの経営維持継続のために元金返済据え置きなどの必要な資金繰り支援を積極的に対応しております。

当行において、本件事由による既往貸出の支援目的条件変更は債務者区分のランクダウンに該当し、貸倒引当金の追加繰入が発生するため、2019年度決算において与信コストが大幅に増加する見通しとなりました。

当行としては、地域経済の安定化のために必要なコストであり地域経済を早期に正常化に導くことで、将来の当行の収益の安定化につながるものと捉えておりますが、2019年度の個別の業績予想において当初の予想との乖離が生じるため連結及び個別の業績予想を修正いたしました。

なお、上記要因を除けば、2019年度の収益状況は、ほぼ予想通りの水準となる見通しでございました。

与信コスト増加の主な内容は以下の通りとなります。

<u>(1) 支援目的条件変更の対象債務者数</u>	約	165	先
<u>(2) ランクダウン対象債権総額</u>	約	250	億円
<u>(3) 貸倒引当金の追加繰入額</u>	約	17	億円

※ 本資料記載の業績予想は、当行が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上

(お問い合わせ) 総合企画部 担当：名嘉・宮里 電話：098-866-3787